

— 入塾前のQ & A — (その2)

Q6：なぜ、合唱曲は英語の歌が多いのですか？それと塾では英語を教えてくださいませんか？

言葉というものは、生活とともにあるものです。いくら学校で英語を学んでも生活の中で使わなければ、特に英会話は上達しないでしょう。塾で英語の歌を主に学ぶのは、きっと塾外でも好きになった歌を口ずさんでくれると思うからです。それは生活の中での歌心というものです。塾では英語の歌の歌詞を和訳して説明しますが、英詩を訳するにはかなりの国語力と想像力が要ります。そうした総合力が身につくからです。学校の英語については塾で指導しませんが、ラボにて英語が不得意な生徒に対して希望があれば、教科書を中心とした和文英訳の指導をしています。

Q7：塾の会費が月払いでなく年会費なのはなぜ？

塾のスタート時は、毎月会費を納めて頂いていました。会の運営を無償で手伝って頂ける保護者の方がおられれば、そうしてもよいのですが今のところ塾長がそれを兼務しています。保護者の方は共働きが多く子供の塾への送迎だけで手が一杯のようです。年会費にすれば塾長は教育だけに専念できます。他の塾の塾費と比較しても2～3ヶ月分ぐらいですから、負担は軽いのでそれをお願いしています。

Q8：塾には終業式があるとのことですが？継続はどのようになっていますか？

3月末頃に終業式があります。これは、1年間のけじめとして行っています。毎年、4月には新しい塾生を迎えています。塾としても昨年より今年、今年より来年と質を高めて行きたいものです。あたらしい塾生を迎えることによって在塾生にも良い刺激となるでしょう。終業式では1年間において成果をあげた塾生を表彰したり、会費免除やラボ費免除の発表も行っています。なお、継続については、特に学習態度に問題がない限り在塾できます。

Q9：ラボ(Lab)って何ですか教えてください？

当塾のスタート時、ラボはありませんでした。あるとき、中学生の女の子が塾長の自宅に数学がわからないと言って習いに来たことがあり、その保護者の方が「個人指導して頂けたら助かります」と言われたのがきっかけです。当初、無料でやっていたがそれだと他の塾生にも・・・ということになります。しかし、全員が来られても・・・ということになり、一応ラボ費を頂くことにしました。そこでそのラボ費を塾にとって必要なことに役立てようと考えました。現在はラボ教育基金と名付け、塾の運営資金として借入金扱いで使われています。そうしたいきさつでしたが、塾生の指導において現在重要な役割を果たしています。塾生に数学を教えていると、勉強が遅れている塾生やとても出来る子もいてまちまちなので、時間を掛けてそれぞれの塾生の性格や得手不得手をしっかり把握して指導出来ますから、かなりの成果をあげることが出来ます。また、日頃の送迎時に保護者の方とのコミュニケーションがよく取れているのでお互い意思の疎通が出来、進路指導などで相談を受けた場合良い方向に進めます。

Q10：1部、2部と分けてあるのは何でしょうか？

当塾は画一的な横の教育ではなく、縦の教育を実践しています。その為、塾の形式としては集団ですが個別指導に重点をおいています。当塾の運営を1部と2部に分けたのは塾生の増員により個別指導が時間的に困難になりました。それを2分割にすることで従来のようなゆとりある指導にするためです。また縦の教育の良さを残すため、1時間だけ全員が揃う時間帯を設けています。そして、今年の春から諸富先生の指導日を増すことで塾生にとってより充実した恵まれた環境が実現します。